

## 令和元年度第4回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会議事録

1 日時：令和元年10月21日（月） 午前9時38分～午前11時22分

2 場所：千葉中央コミュニティセンター 3階 調停室

### 3 出席者：

#### (1) 委員

石井 慎一委員（部会長）、観音寺 拓也委員、谷藤 千香委員、望月 悦子委員

#### (2) 事務局

（都市総務課）

諏訪都市総務課長、三田課長補佐、亀井主査、佐々木主任主事、野田主任主事

（公園緑地部）

竹本公園緑地部長

（公園管理課）

木津公園管理課長、住田主査、加藤主任技師

### 4 議題：

(1) 議事進行について

(2) 第一次審査の結果について

(3) 千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理予定候補者の選定について

### 5 議事の概要：

(1) 議事進行について

配布資料をもとに説明を実施した。

(2) 第一次審査の結果について

申請者から提出された書類について、事前に形式的要件の審査（各団体が募集要項に定める応募資格すべてを満たし、かつ、失格要件のいずれにも該当しないことを確認すること）を行い、要件をすべて満たすことを事務局から報告し、確認した。

(3) 千葉市蘇我スポーツ公園の指定管理予定候補者の選定について

申請者によるプレゼンテーション、質疑応答、採点を行い、採点結果を事務局において集計。採点結果について委員間で協議し、SSP UNITED を指定管理予定候補者とすべき者として選定することとした。

### 6 会議経過：

○三田都市総務課長補佐 それでは、委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまより令和元年度第4回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

事務局をしております都市総務課課長補佐の三田でございます。よろしくお願いたします。

本日の会議でございますが、5名のうち4名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は

成立しております。

開会に当たりまして、公園緑地部長の竹本よりご挨拶申し上げます。

○竹本公園緑地部長 皆さんおはようございます。

本日は大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

10月9日に引き続いてのご参集ということで、どうもありがとうございます。

本日ご審議をお願いいたします蘇我スポーツ公園ですが、8月7日に開催しました第2回スポーツ部会にてご審議いただきました募集要綱等により公募を行った結果、1つの団体から申請がございました。事務局にて第一次審査の形式的要件審査の結果、合格となっております。委員の皆様には、第二次審査として提案内容審査を行っていただきますが、管理運営の基準等で定めております水準を満たしているかどうか、また、さらなる市民サービスの向上、管理経費の縮減につながられるかどうかご審議いただき、最終的に応募者を指定管理予定候補者に選定するかどうかの審議をお願いいたします。

委員の皆様には、それぞれ専門の立場から、的確な審査をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○三田都市総務課長補佐 それでは、議事に入る前に会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。お手元の資料3「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」をごらんください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの(1)のただし書きにあります、公募の方法により、指定管理予定候補者の選定に関する事項を審議する会議に該当いたしますので、非公開にて実施することといたします。

また、議事録につきましては、2、議事録の確定の(1)及び3、部会の会議への準用のとおり、事務局が案を作成し、皆様に内容を確認していただいた後、部会長の承認をもって確定とさせていただきます。

それでは、ここからは石井部会長に議事を進行していただきます。

部会長、よろしくお願いいたします。

○部会長 皆さんおはようございます。

それでは、私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

初めに、議題(1)議事進行について、事務局からご説明をお願いいたします。

○諏訪都市総務課長 都市総務課長の諏訪でございます。おはようございます。

委員の方におかれましては、事前に多くの資料に目を通していただきましてまことにありがとうございます。

それでは、私のほうから、議題(1)議事の進行についてご説明させていただきます。失礼ではございますが、着座にて説明させていただきます。

初めに、お手元の資料5「指定管理者の公募に対する応募者一覧」をごらんください。

このたびの蘇我スポーツ公園に対しまして、4者からなるSSP UNITEDの1団体から応募がございました。

当該団体は、代表企業を株式会社千葉マリスタジアムとして、構成企業は、ジェフユナイテッド株式会社、日本メックス株式会社、日本体育施設株式会社となっております。

続きまして、お手元の資料6「議事の進行について」というフロー図をごらんください。

本日の議事進行についてご説明いたします。

初めに、第一次審査結果報告につきましては、この後、施設所管である公園管理課より説明

させていただきます。その後、応募者による10分間のプレゼンテーションと質疑応答を行います。プレゼンテーション終了1分前には事務局から応募者に対してお知らせをいたします。

また、大変恐縮ですが、質疑応答中に事務局側への確認事項等がございましたら、応募者退室後にご質問いただくようお願い申し上げます。

次に、皆様それぞれ行っていただく採点についてですが、資料7「採点表（第2次審査用）」をごらんください。該当する評価を○で囲んでいただきます。評価は原則としてAからEの5区分となっております。なお、採点中の大項目指定の基準、2の（1）、5の（2）、6の（1）、（3）、（4）につきましては、審査項目の内容により自動的に点数が決まっておりますので、応募者から提出された審査書類をもとにあらかじめ採点させていただきます。審査基準につきましては、資料8をごらんください。

採点終了後は、委員の方による意見交換をしていただき、採点を再確認していただいた後に採点表を確定させていただきます。その後、事務局にて採点表の回収、それから集計をした後、委員の皆様を集計結果をお配りし、その結果を発表させていただきます。

なお、採点結果において、一部の項目を除き審査していただく項目のいずれか1項目にでも過半数の委員の方がDの評価をした場合、または1人以上の委員の方がEの評価をした場合は、応募者を失格とすることが相当であるか否かの協議を行っていただきます。また全ての委員の方が評価Eの項目を選択した場合には、直ちに失格とさせていただきます。

その後、応募者を指定管理予定候補者に選定するかどうかについてご審査いただき、選定された場合は、選定理由や評価する点などについてもご意見をいただきたいと考えております。

最後に、採点表及び集計結果につきましては、審査終了時に回収させていただきますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

以上で、ご説明を終わりにいたします。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明に対しまして、委員の皆様、ご質問などございましたらお願いいたします。

はい、委員どうぞ。

○委員 資料7の記載は評価の段階に○をつければいいのでしょうか、それとも点数まで書いたほうがいいのでしょうか。

○都市総務課職員 それでも大丈夫です。

○部会長 ほかにございますでしょうか。

大丈夫でしょうか。

それでは、議題（1）については、以上で終了いたします。

議題（2）第一次審査の結果について、事務局から説明をお願いします。

○木津公園管理課長 公園管理課の木津でございます。よろしく申し上げます。

座って説明させていただきます。

お手元にごございます資料8の2ページをごらんになっていただきたいと思いますが、2ページの下の方に、2形式的要件審査というのがございまして、これを一次審査といたしまして内容を確認いたしました。

確認した内容は、（1）の審査内容のアにある応募資格、（ア）から次のページ、3ページに行きまして、（コ）までの10項目でございまして、この内容を審査した結果、全て要件を満たしておりましたので、ご報告いたします。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明に対しまして、委員の皆様、質問などございましたらお願いいたします。

○公園管理課職員 審査の結果に関しましては、別途配付資料でお渡ししておりますので、そちらをごらんください。

○部会長 特にご質問はございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○部会長 それでは、議題(2)については、以上で終了いたします。

これから、議題(3)蘇我スポーツ公園の指定管理候補者の選定についてを行います。

応募者をお呼びする前に、善積委員からのご報告等を事務局からお願いいたします。

○木津公園管理課長 本日、ご欠席の善積先生から、事前にコメントをいただいております。内容につきまして読み上げさせていただきます。

収入見積もりの妥当性について。

個々の見積もりが妥当であるかについてはよくわかりませんが、金額的に見て明らかに問題になるようなところはないように思われます。この点につきましては、他の委員さんのご判断に従いたいと思います。

ただ、全体の見積もりに関してですが、私の計算によると、前年度、平成30年度の実績との比較で令和2年度の利用料金収入(駐車場収入を含む)は、前年度実績とほぼ同じなのに対して自主事業収入が前年度実績よりも約56%減少しており、他方で管理運営経費については前年度実績よりも約40%増加していることが気になりました。

さらに、4社の財務諸表についてでございます。

各社とも財務状況に問題があるとは思いませんでした。ただ、千葉マリスタジアム社の平成30年度売上高が前年度売上高に比べて大幅に減少していることで、35%減というのが気になったというところでございます。

以上でございます。

全体に対する見積もりに関しては、今回、駐車場だとか園地だとか、そういったものが今まではこの指定管理者の区域ではなかったということとか、また、あと施設が今回増加したということで、多少前年度実績とはずれてきたということでございます。これにつきましては、ちょっとわかりづらいので、事務局のほうから説明をさせます。

○公園管理課職員 では、補足させていただきます。

まず、善積委員よりご指摘をいただいた利用料金収入の件なんですけれども、昨年度、平成30年度実績利用料金収入が1億811万4,337円になっております。それに対して、令和2年度で取り上げさせていただきますと1億4,168万7,000円になっております。この差なんですけれども、現在、管理許可施設として自主事業に収入が載せられております駐車場の利用料金が、そのまま令和2年度以降の利用料金収入に入ったことによって釣り合いがとれておりますので、特に問題はないかと思っております。

自主事業収入に関しては、自主事業の収入であった駐車場の利用料金収入が通常指定管理施設の利用料金収入に移動したことによる減の分と、それ以上に確かに減っている部分がありますので、その点については確認していただくとありがたいです。

管理運営経費の増加についてですが、今年度ご存じのとおり、今まで指定管理施設ではなかった駐車場と公園園地の部分が入っておりますので、その分の増加があると想定されます。

以上になります。

○部会長 ありがとうございます。

今の自主事業収入の減少の点ですけれども、駐車場で減った分が3,500万ぐらいでしょうか。そうすると、その駐車場以外の部分で減る見込みというのは幾らになりますでしょうか。令和2年度が収入として見込まれているのが5,675万円です。

○公園管理課職員 大体6,000万円ぐらいの様子になるかと思います。

○部会長 駐車場以外で1,500万ぐらい減るということ。

○公園管理課職員 ちょっとお待ちください。

そうです、3,800万円ぐらい減収になっております、駐車場を除いて。

確認をしたところ、恐らくJAPAN JAM関係とか、駐車場関係のところで大幅に減っております。

あと、もう一つありました。約300万なんですけれども、トイレの清掃委託が指定管理施設のところに入ります。

○木津公園管理課長 細かいところにつきましては、また後で報告をさせてもらいたいと思いますので、ヒアリングの後、また少し時間をいただければ、それをしたいと思います。

○部会長 ヒアリングの際に、その自主事業で前年度よりも今後の見込みが減っているようだけれども、それはどういう理由かということを知りたいものなのかなどということの中で、単純に項目が移っただけだったら別に聞く必要はないと思うんですけれども、移った項目よりもさらに減っているんだとしたら、そこは前年度と比べてどういうところですかと聞きたいと思うんですが、その点をちょっと、どうなんですかね。実際に減っているのか、ただ項目が移っているだけだから変わらないよということなのか。

○木津公園管理課長 多少前後して増えているところと減っているところがございまして、確かに駐車場と先ほど言ったトイレの清掃の部分は確実に今の場合、減っているところでございます。それ以外については、項目は去年の実績とぴったり同じじゃないので、どれがどれに当てはまるかが今すぐにはわかりかねるので、お答えをしづらいところでございます。

○部会長 そうしたら、ちょっと質問を変えます。前年度実績の自主事業収入というのは幾らですか、平成30年度。

○公園管理課職員 前年度実績の自主事業の収入に関して言いますと、1億2,989万8,306円になります。恐らく今ここで見た限りだと、昨年度実績のうちのイベント誘致事業と、あとは自販機関係ですね。その電気料等が計上されていないように思われます。イベント誘致事業等の中に駐車場料金が入っておりますので、金額がそこが6,147万4,000円、ここから駐車場料金を引いた額というのが差額になるかと思いますので、そこで大体2,600万ぐらい、そこは計上されておられません。あとは、その自主事業に係る電気料に関しては別途請求することになっているのですが、ここで昨年度実績で約970万円、これも見ている限りでは、自主事業をやるのに例えば隣の売店ですとか飲食店がお店を出したときに使っている電気代ですとか、ガス料金ですとか、そういうのを別途その事業者のほうに請求をかけているんですね。そこが収入の項目に載ってくるのですけれども、それがちょっと落ちているようですね。大きいものとしてはイベント誘致のところが大きな収入の差かなと思われます。

○部会長 そうすると、前年度実績1億2,989万と、今回見積もられた自主事業収入5,675万で、差が7,314万なんですけれども、その7,314万の内訳が、駐車場が3,500万あって、イベントの今の部分2,600万あって、あとトイレで300万と電気970万。そうすると、これを足すと7,000…ほぼ同じなんですかね。

○公園管理課職員 ほぼ同じに、はい、なりますね。

○部会長 ということは、あえて聞く必要はないということですか。善積先生のコメントの減少しているというところは、単純に移っただけだというように理解してよろしいのでしょうか。

○木津公園管理課長 はい。

○部会長 ありがとうございます。

委員の皆様、ほかに何か今の時点で、ご質問等ございますでしょうか。大丈夫でしょうかね。それでは、応募者をお呼びいただいてもよろしいでしょうか。

(SSP UNITED 入室)

○部会長 事務局からご説明は特にはないですか。大丈夫ですか。

ご準備のほうはよろしいでしょうか。

○SSP UNITED (永井) はい。

○部会長 では、ただいまから10分間のプレゼンテーション、よろしくお願いいたします。

○SSP UNITED (永井) はい、よろしくお願いいたします。それでは、皆さん。

おはようございます、よろしくお願いいたします。

私たち、SSP UNITEDでございます。

このSSPといたしますのは、蘇我スポーツ公園、soga sports parkを一応SSPと略しまして、SSP UNITEDという形での共同事業体の名前となっております。よろしくお願いいたします。

それでは始めさせていただきます。

このたびは、千葉市蘇我スポーツ公園指定管理者応募の機会をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

私たちSSP UNITEDは、スポーツや文化を通じ、千葉市の発展と千葉市蘇我スポーツ公園を含めた地域のさらなる発展という同じ目的で団結した共同事業体でございます。

ここで、本日の出席者の紹介と共同事業体を構成しております企業の概要を説明させていただきます。

私は、代表企業であります株式会社千葉マリスタジアム総務部長の永井でございます。よろしくお願いいたします。

私の隣におりますのが、現在、千葉市蘇我スポーツ公園スポーツ施設の統括責任者を務めております佐川でございます。

○SSP UNITED (佐川) 佐川でございます。よろしくお願いいたします。

○SSP UNITED (永井) 所属は代表企業でございます株式会社千葉マリスタジアムでございます。

そして、こちら、私の右におりますのが構成企業でございますジェフユナイテッド株式会社の高橋でございます。

○SSP UNITED (高橋) よろしく申し上げます。

○SSP UNITED (永井) 続きまして、佐川の隣におりますのが、構成企業の日本メックス株式会社の若杉でございます。

○SSP UNITED (若杉) よろしく申し上げます。

○SSP UNITED (永井) また、高橋の隣におりますのが、構成企業であります日本体育施設株式会社のオオタでございます。

○SSP UNITED (オオタ) よろしく申し上げます。

○SSP UNITED (永井) 失礼ながら、座らせていただきたいと思います。

代表企業であります株式会社千葉マリスタジアムは、平成元年に千葉マリスタジアム

— 現在はZOZOマリンスタジアムと呼ばれております — の管理運営会社として設立され、千葉マリンスタジアムの施設管理、運営はもとより、プロ野球開催、運営から3万人規模のコンサートの誘致、並びに自主開催など多数の事業を成功させてまいりました。

また、千葉市内のコミュニティセンターや千葉市文化交流プラザ — 京葉銀行プラザというネーミングが以前ございました — などの公共施設の管理運営を多数行ってまいりました。

現在、蘇我スポーツ公園スポーツ施設の指定管理者、MMT共同事業体の代表企業として施設の運営とさまざまな自主事業を行っております。

蘇我地域では初めての開催となりました大型コンサート、JAPAN JAMも誘致いたしまして、2017年から3年続けて開催し、地域のにぎわいの創出や経済効果においても貢献をしております。また、来年度以降の継続開催についても働きかけを行っておるところでございます。

今回、蘇我スポーツ公園指定管理者応募につきましては、共同事業体の編成を変えて応募させていただきました。構成企業でありますジェフユナイテッド株式会社は、1993年Jリーグ創設時よりJリーグで戦っているサッカークラブでございます。フクダ電子アリーナの建設には大きくかかわり、竣工時からフクダ電子アリーナをホームスタジアムとして利用しております。

ジェフユナイテッドは、クラブの理念として、皆様に元気、楽しみ、幸せを感じていただけるクラブになることを掲げております。また、Jリーグの理念には、豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与が掲げられております。ジェフユナイテッドのホームゲームを開催することで、地域の活性化へ大きく貢献し、まちづくりや地域のスポーツ振興にも力を発揮できるのがJリーグクラブの特徴でございます。ジェフユナイテッドの存在価値を十分に発揮し、蘇我スポーツ公園をスポーツ文化振興の拠点、地域交流の拠点に、そして地域活性へとつなげていきたいと考えております。

次に、構成企業であります日本メックス株式会社は、創業以来47年間、多くの建物の維持管理、保全を行い、全国150拠点、建物維持管理及び保全業務に必要な資格54種、延べ5,715名の有資格者を有し、確かな技術、知識、ノウハウ、豊かな経験と実績をもとに、お客様の満足を第一に、安心・安全、快適な建物の維持管理・保全を、蘇我スポーツ公園スポーツ施設でも実践しており、施設を良好に維持しております。引き続き、施設の維持管理業務を担当いたします。

次に、構成企業であります日本体育施設株式会社は、仙台スタジアムを初めとして天然芝スタジアムの管理運営の実績を多数持ち、ジェフユナイテッド株式会社の練習場、ユナイテッドパークの芝生管理も行っている企業でございます。今回、指定管理者に参加することにより、天然芝の管理につきましては、練習場とフクダ電子アリーナの天然芝の一体管理が可能となります。

また、プロ仕様の天然芝管理だけではなく、フクダ電子グラウンドやフクダ電子スタジアムの芝生管理においても品質を第一と考え、管理運営の基準に対してプラスアルファの管理を実行してまいります。これまでの日本全国で培ってまいりました技術、経験を各施設の芝生管理に生かしてまいります。さらに、植栽、公園園地管理においても、千葉市都市公園緑地維持標準仕様書に基づき、適切な方法による管理を行ってまいります。

それでは、SSP UNITEDの提案についてご説明させていただきます。

最初に、指定管理者として、どのように蘇我スポーツ公園を運営していくかについてでございますが、1ページに記載のとおり、千葉市における指定管理者制度運用の4つの基本理念に基づき、市民サービスの向上、管理経費の縮減を図ることを大きな目的として管理運営を行い

ます。

公正・公平な利用促進による、利用者、来場者の増加、公共施設としての施設価値の向上を図ることが蘇我スポーツ公園の運営課題と認識しております。

維持管理業務におきましては、安心・安全な施設管理を目指します。誰でも快適に過ごせる環境づくりを心がけ、施設利用者、来場者の皆様に、日よけテントや折りたたみ椅子の貸し出しだけでなく、周辺の植栽など、環境美化にも配慮した管理を行っていききたいと思います。

当事業体では、40ページに記載の数値目標を達成するために、さまざまな対策を行っていききたいと思います。

まずは、関連する団体、関係機関への広報活動を行い、蘇我スポーツ公園の内容や魅力を改めて説明いたします。また、ジェフユナイテッドとの連携により、サッカー教室など、さまざまなイベントを通じ、利用促進を働きかけてまいります。

そして、シルバー世代へのスポーツ利用促進や、保育園や幼稚園児への運動能力向上のための施設利用提案、小学生への施設見学と施設利用をセットにしたプログラム提案、千葉市の野球団体との連携を図り、野球教室の開催や大会誘致などを行い数値目標の達成を目指してまいります。

稼働率の向上策として、夏休みなど長期の休暇期間の稼働率を向上させることも重要と捉えております。春休みや夏休みなど、休暇期間中の部活動誘致、夏季の時間外利用 ― これは早朝や夕方でございます ― を提案してまいり、利用促進につなげていききたいと思います。

S S P U N I T E Dは、千葉市蘇我スポーツ公園が千葉市のスポーツ集客施設となること、また千葉市蘇我スポーツ公園を含めた地域のさらなる発展に貢献いたしたく、指定管理者に応募させていただきました。これまでの日々の経験を糧とし、蓄積してまいりました実績と経験を利用者の皆様にさまざまな形でお返しできるよう指定管理業務を行ってまいります。

以上、よろしくお願い申し上げます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、質疑応答を行います。委員の皆様からご質問よろしくお願いたします。

委員どうぞ。

○委員 提案ありがとうございます。

提案書の35ページですが、モニタリングの考え方ということで、1の中の3行目です。従来のアンケート方法を見直し、平日、休日別、施設別のアンケートを行い、現状よりもより細かくやられるということで、利用者ニーズを把握するというのは指定管理において非常に重要だと思いますので、ぜひ細かくやった分析の結果なども十分に反映できるようにしてください。ただ分けただけではなくて、平日に、何の課題があるのかとか、どういうニーズがあるのかなど、もともとの認識として平日の稼働率の低さが大きいと思いますので、こういうモニタリングを強化する意味で施策につなげられるようにぜひお願いしたいと思います。それと45ページ、こちらの未就学児向け運動教室も非常によいと思います。広い場所を無駄にしたりとか、あいているのは非常にもったいないので、収益どうこうというよりは、小さな子供たちに使ってもらおうというところを念頭に置いて、積極的に保育園とか幼稚園に声をかけていただければと思います。

この辺の計画とかで、どんな感じでやられるとか、何かありますか。

○S S P U N I T E D (佐川) まず、今、委員がおしゃられた平日だとか、そういう稼働率を向上させるための施策として、今回、未就学児童向けの運動教室というのを入れたんですけども、ここにアプローチするためにも、今回、一緒に構成企業で入っているジェフユナイ



テッド、ここに関しては、非常にそういう保育園だとか幼稚園、ジェフユナイテッド自体が足を運んで、そういったつてがある、そういったところから今回一緒になって、そういうものをまた広げていきたいと考えているんです。具体的に、高橋さんのほうから。

○SSP UNITED（高橋） ジェフでは今、ひよこ隊というのをやっていて、幼稚園に着ぐるみと一緒に外向いて、体操したりということをやっているんですけども、地元には幾つかの保育園がありますので、まずはそういう近場の、要は蘇我スポーツ公園に来やすいところから最初に来ていただいて、それともう一つは、私たちのクラブには子供たちを教える指導者がたくさんいますので、そういうノウハウも持っていますし、こういう5歳ぐらいまでで運動能力がある程度決まるというような、それに対してどういう働きかけをしていったらいいかというノウハウも持っていますので、まずは近場の学校とか、コンタクトのある近場の幼稚園、保育園とか、コンタクトのある幼稚園、保育園に来ていただいて、それがいいなということになれば、公募していくと、だんだん手を挙げてくれる園がふえると思うので、そういう形でやっていけるんじゃないかなというふうに考えています。

○委員 ありがとうございます。

7番ウエディングというのがあるのですが、非常に目を引かれました。費用が15万円となっていて、収支計画で多分45万円を見ているので、年間3件ぐらいを見込んでいると思うんですけども、これは何かあてというか、どういう方針とか、何かありますか。

○SSP UNITED（高橋） やはりジェフユナイテッドのサポーターが一番ニーズが高いだろうというふうに思っているんです。これは1つは告知の問題があると思いますので、こういうことがあるということが知られていないと手を挙げてくれる人が少ないと。幸い私たちは、例えばSNSだけで約12万人のフォロワーがいますので、そういう人たちにアナウンスをしたり、もしくはシーズンシートが5,000人、ファンクラブが3,000人いるんですけども、その方たちには直接メールを出すというシステムがありますので、そういうところを使って、じゃ、この日とこの日とこの日はウエディングができますよということをアナウンスしていくことによって、手を挙げてくれる人がふえてくるんじゃないか。もちろんニーズもありますので。

○委員 実績はどんな感じでしょうか。

○SSP UNITED（佐川） 今、実績的には、ウエディングという形で、今回載せているような15万円という費用ではないんですけども、年間数回、今言ったようにサポーターの中で結婚される方とか、ぜひジェフが使っているピッチの上で写真を撮りたいとか。

○委員 そこでピッチに上がるとか、歩いたりとかですか。

○SSP UNITED（佐川） そうですね、そういうようなものはジェフの協力で、その着ぐるみも来ていただいて、一緒に撮影をしているというのは今実績で持っています。ただ、そこから……

○委員 熱烈なサポーターだったら最高のものになる、そんな意味ですね。

○SSP UNITED（佐川） はい。ですから今やっているものにもうちょっと輪をかけて広げていって、ジェフさんの考えているもので、もう少しそこから記念撮影だけでなく、うちの施設で4階のVIPルームがあるので、そこで家族なんかを呼んで食事をとってもらったりとか、そういうようなイメージでいうと、大体その費用的に15万いただいて、できるだけ形でやっていければいいなという考えです。

○SSP UNITED（高橋） あとクラブが、今回ジェフと一緒に共同事業体を組みましたので、そこにその選手からのメッセージを出すとか、選手のサイン入りの記念グッズを差し上げるとかということができるようになりますので、このウエディングそのものの付加価値も

高くしていくことができると思うんです。私たちはそういう形で、このレベルアップさせていけるのかなというふうには考えています。

○委員 ありがとうございます。

○部会長 はい、どうぞ、委員。

○委員 今回ご提案されている御社の共同事業の中で、そのうち2者が現在も協力し加入されているわけですが、組みかえることによって何か新たな提案、あるいはこれまで何か問題があったとすれば、それをどのように改善するか、新たな提案は何かありますでしょうか。

○SSP UNITED (佐川) まず、今回4者の中で2者、言われたとおりに入れかえを起こしているんですけども、まずはジェフユナイテッドが入ったということに関しては、今、委員からさまざまな質問があった中のいろんなメリット、プラスアルファで、いろんなことができるというところにおいては、プロから見た目線でそういうスポーツ公園を活用する、それと我々が今やっているアマチュアのほうから見たもの、それを一緒にした場合、もっと幅広く利用者に対してのサービスが向上できるだろう、そういう考えでジェフさんを一緒に入っていたら、運営していきたいなという考えです。

それともう一つは、今現状やっている芝の管理に関しましては、東洋グリーンという会社が今やっているんですけども、この社に関しては、もちろん何もマイナス点、欠点があるわけではないです。よりよい管理をするというところで、非常に悩んだんですけども、もちろん今やっている東洋グリーン社、それから今回組む日本体育施設、それともう1社、プロポーザルを行った上で、次の指定管理からは管理区域ももちろんご承知のとおり、ふえるわけです。そういった中で、どこでピッチだけにかかわらず全体の管理を運営していくところで一番いい管理ができると、そういうものを図ったときに日本体育施設さんがなったという理由の一つは、公園全体を管理すると、その中には遊具広場もあつたりする。そういう中で、日本体育施設さんは全国において、そういう施設を管理している実績があると、芝のもちろんピッチを良好に管理することだけではなく、園地含めた植栽管理、それから遊具広場の管理、全国においてそういう管理実績がある、能力があるというところにおいては、次の指定管理から管理する中で一番非常にプラスになってくる企業じゃないのかなというところで入れかえを行ったというところであります。

○委員 ありがとうございます。

○部会長 はい、委員。

○委員 少し関連かもしれないかと思いますが、利用者への支援とか自主事業とか、ジェフユナイテッドさんが入ることでサッカーに関するところはすごく変わることが想像できるんですけども、それ以外のテニスとか野球とか、その辺で施設自体の管理の質は上がるという話でしたけれども、もう少し利用者のところで、どんなふうになる予定だというところがあればぜひ伺いたいと思います。

○SSP UNITED (佐川) 今言ったように、もちろんジェフユナイテッドがプロのサッカークラブを率いているチームなので、サッカーに関しては今おっしゃられたとおり非常に、今よりもよりサッカーに関しては広がっていくと思います。そのほかのスポーツに関しても、ジェフが持っているネットワーク、プロスポーツ競技に関するネットワークというのは多大なものを持っていて、もちろん今、蘇我のスポーツ施設の中にあるサッカーの施設だけでなく、野球場、それからテニスコート、それからまた新たに整備地区にもできてくるんですけども、そういったところのプロスポーツの団体にもすごくネットワークがあつて寄与できると。そういう中においても、そういったところを活用して、野球だったり、テニスだったり、そういっ

たところを新たな発想をプロのネットワークを利用して生かしていただいて、そこで新しい集客をつかむという点においては、サッカーを広めていくと同じような形で新たな取り組みというのができると思いますね。

ちょっと具体的にはどういうネットワークを持っているかというのはジェフさんのほうから聞いていただければと思うんですけども、よろしく。

○SSP UNITED（高橋） そういう内容でよろしいですか。

○委員 そうですね、サッカー以外のところでも大きく変わるかなというところを期待しています。

○SSP UNITED（高橋） 実は、KEIYO TEAM6というのがありまして、これはサッカー、プロ野球はロッテマリーンズさん、それから千葉ジェッツさん、オービックシーガルズさん、バルドラール浦安さん、それから千葉ゼルバさんという、バレーボール、野球、サッカー、アメフトという、その連携があるんですね。これは今、定期的にいろんな、一緒にイベントをやったりして動いていて、お互いにスタジアムに行き合ったりとか、そこでいろんなイベントと一緒にやり合ったりということをやっている、現在もジェフのほうでは、プロゴルフ協会とタイアップして一緒にイベントをやったりとか、それからオービックシーガルズさんと一緒にやって、半日アメフト、半日サッカーみたいな、そんなイベントをやっておりますので、やはりそのネットワークはたくさんありますので、そのネットワーク、実際に今こういうことをちょっと考えているんだけどもということ各チームにお願いしたところ、一緒にやりましょうというふうな話もいただいているので、いろんな施設を使って、それから、もちろんマラソン大会なんかも自分たちでも開催していますし、地元の蘇我中学校なんかにも協力していただいたりとかしていますので、プロのチームとの連携があるということで、多種のスポーツにかかわれるかなと。あとは、プロスポーツだけではなくて、おかげさまで千葉市でもう10年近くサッカーのスポーツをやらせていただいているので、いろんな団体さん、ラグビー協会ですとか、そういうところともネットワークがやっぱり少しずつできていますので、今ソフトボール協会ともコンタクトをしようとしているんですけども、そういう形でいろんなスポーツとのネットワークを活用して、いろんなイベントだったり教室だったりを仕掛けていけるのかなというふうには考えています。

○委員 サッカー以外も市民向けのいろんなサービスが展開できるという理解でいいでしょうか。

○SSP UNITED（佐川） そうです。

○委員 はい、ありがとうございます。

○部会長 じゃ、ちょっと私からお聞きします。

今回4者で組まれています。非常によいと思うのですが、前回ジェフさんと日本体育施設さんが別グループで出たという経緯があったかと思います。今回、ジェフさんがまた別グループで出ようとしなかった理由、組んだというのは何かあるのでしょうか。

○SSP UNITED（高橋） いろいろお話し合いをしながら、いろんな可能性を探りながら、私たちもどこにしようかということを検討したんですけども、一番大きかったのは、今回、この5年間、株マリンさんが指定管理をやられて、その間、我々のクラブは利用者としてずっと常にいろんな調整をしてきたんですけども、日々のそういういろんな調整とか話をしていっている中で、私たちがこの施設、蘇我スポーツ公園をこういうふうにしていきたいという、もっと活性化していきたいとか、もっと利用率を上げていきたいとか、もっといろんなことをやっていきたいという考え方が非常に同じ方向を向いているなということを感じたので、それ

であれば私たちの足りないところを株マリンさんでやっていただき、今不足している部分を私たちがやることで今よりもっといいものができる、もっといい利用の仕方ができるではないかというふうに考えましたので、今回、株マリンさんと一緒にやらせていただきました。

○部会長 今まで、その利用者として足りないなど思っている部分はこれから自分たちのほうで補っていきける、さらによくしていけるといことでしょうか。

○SSP UNITED (高橋) そうです、はい。

○部会長 施設の管理等について、基本的にはこれまでと同様に継続していくというように伺ってよろしいのでしょうか。

○SSP UNITED (佐川) はい、そうです。

○部会長 そうすると、例えばこの提案書の7ページの管理運営の執行体制とか、そういったところで、これまでと変わる部分というのは、あるのであればこういうところは変わっていきますよというのは教えていただきたいんですけども。

○SSP UNITED (佐川) 基本的には、次の指定管理から変わる、その管理する施設がふえるという部分において、若干人間もふえているところはあるんですけども、大きく変わるのは園地の管理と遊具広場の管理、それと今まで管理許可でやっていた駐車場の管理が指定管理に変わってくるというところが大きな点でありまして、そこを管理する上で特に園地、幅広く管理、今まで施設だけを管理したんですけども、公園全体を管理しなきゃいけないという部分についてはかなり慎重に、要は警備だとか、そういったところも力を入れてやらなきゃいけないのかなという考えでおりまして、そういったところが変わってきます。なので警備関係だとかも、セキュリティ関係の見直し、そういったところもしていきたいと思っています。

特に、特別提案で掲げているんですけども、提案書の63ページ、もちろん、今までは遊具広場というのは千葉市さんのほうが管理した部分であって、次からは指定管理のほうで管理しなきゃいけないと。遊具広場に関しては小さいお子様から、お年寄りまで、日々遊具広場を使って遊んでいただいているところなんで、万が一の事故、トラブル等においては、ここにはサッカー場のスクエアの管理棟はあるんですけども、少し離れたところにあるので、ここで次の指定管理させていただく上で、遊具広場に監視カメラの設置というところで特別提案のところに載せていただいております。3台ぐらい設置して、日々の遊具広場で遊んでいる方たちの様子などをきちんと、何かあったときの不測の事態に備えて監視カメラを設置して、万が一何かあったときにはこのカメラによる検証において、きちんと分析して処理を行っていきたいというところでもあります。そのように、ふえていく施設において、少し力を入れて管理をすることというところが大きく変わってきているところでもあります。

○部会長 ありがとうございます。

提案書の43ページ以下に自主事業のことが記載があります。この自主事業というところで、これまでとは変わっていく部分というのはどこかあるのでしょうか。

○SSP UNITED (佐川) 今までと変わっていく部分に関しては、やはりジェフさんが一緒に構成企業をやっていくというところにおいて、今までも話はあったんですけども、ジェフさんのネットワーク、こういうものを生かしたところでの自主事業、例えばスポーツ教室なんかは、先ほど出たように、KEIYO TEAM6のスポーツ教室、こういったところはジェフさんのネットワークによって、より多彩なスポーツ競技において、一般の市民の方たちが、そのスポーツに興味を持つような形での自主事業を展開するというようなところは新たに組み込んでいる自主事業でございます。先ほど言ったように、ウエディングも今やっている実績もありますけれども、それ以上のものはジェフさんのネットワークを活用して、あるいは

ジェフさんのサッカーを見にくるサポーター、この方たちにももっと幅広く、もちろん一般の方たちもそうですけれども、もっと幅広い中身の濃い、ウェディング一つとっても自主事業にしたいというところが、今までやっているところよりも、なお中身の濃い自主事業として展開していきたいなという考えであります。

そのほかは、健康づくり教室、テニスアカデミー、一番上に広告の販売事業ですとか飲食、この辺についても、今以上に、また、特に広告販売と飲食販売事業に関しては、これもまたジェフさんが加わることによって、飲食販売は基本、中心になっているのがジェフの興業、21試合Jリーグは開催されているんですけれども、ここについてはジェフさんと一体になって、また、よりよい飲食販売事業の展開をしていきたいなど。ここはジェフさんも今度加わっていただくことによって、もっと販売能力の向上を図ったり、要はどういうものを売ってあげればもっと売りが上がったり、あるいは来場者の方が喜んでいただけるような飲食の販売が展開できるかというところは一緒に考えていきたいと、ここは大きく次の指定管理からは変わっていくことができるんじゃないかなと。

広告販売においてもそうなんですけれども、今までジェフさんと施設管理である我々は、今現状では施設の管理、それでジェフさんは、変な言い方ですけども施設を利用する立場、この中で指定管理の広告の販売の弊害となっちゃっているところは、ジェフさんのほうは単独で1つの試合において広告販売を行っている。ところが我々は年間を通じたそのスタジアム、アリーナにおける壁面広告の販売を行っている。ちょっとその弊害というのは、各企業、営業に行っても、我々が壁面広告の営業に行っても、ジェフさんの各試合のサッカーのゲームのところから広告を出しているからそれで十分だよというところで、なかなか年間通しての壁面の広告の販売が難しい状態なんですけれども、ここが一緒に活動できることによって、ジェフの試合にも出させる、年間でも広告が掲出できる、そういったところで、いうならばジェフさんのほうに営業活動を一緒に協力してやってもらうことによって、今まで以上の広告販売の収入が得られるのかなというところで、今言ったようなところは、今よりも自主事業に関しては幅を広く持たせることができるところだと思っています。

○部会長 ぜひ、ジェフさんにJ1に上がっていただければ、ここがもっともっと上がるんじゃないかと思います。

○SSP UNITED (佐川) そこが一番のポイントになる。

○部会長 頑張ってください。

○SSP UNITED (高橋) 何とか価値を上げるように。

○部会長 はい、どうぞ。

○委員 ちょっとずれちゃうかもしれないですけども、障害者スポーツに関しての何か展開の可能性とかご意見がお伺いできればうれしいなと思います。

○SSP UNITED (佐川) 障害者スポーツの展開なんですけれども、これは非常により多くそういった形の取り組みというのはしていかなくちゃいけないなという考え方があります。ジェフさんのほうは持っていると思うんですけども、まず我々も今現在、ヒルスコート、テニスコートのほうにおいて、千葉市さんからというか、当社事業体のほうでも内部的に話があったことなんですけれども、それと今実際にヒルスコートで自主事業をやっている、スクールとアカデミーをやっているんですが、そこの委託をしているところと一緒にやっているんですけども、ここの千葉市の市長さんもそれに力を入れているところがあるんですけども、テニスにおける車椅子テニスというのがオリンピックでも、パラリンピックのほうで競技になっているんですけども、立位、立ったままのテニスができるんですけども障害を持った方と

いう、そのというのが今、まだ認知されてなくて、ことし初めてその大会を蘇我のテニスコートでやったというところに関しては、これは来年以降もっと大きな大会の規模にして継続していきたいなど、それが後々大きな競技に発展して、展開していければいいなどというところにおいては、そういった形を広げていきたい。要はまだまだ、例えば立ってできるんだけれども片手が不自由だとか、そういうような方たちのテニスの大会、こういうものをどんどん推進していきたいなどというところで思っております。

あと、ジェフさんのほうも、今回の提案にも入っていますけれども、障害者におけるスポーツ競技というもので、高橋さんのほうから何かあれば。

○SSP UNITED（高橋） 来年、千葉市でもパラリンピックがあるということで、やっぱり関心が高まっているというか。なので、実際、私たちは今、千葉市のオリンピック・パラリンピック推進課のイベントに、実はジェフのレディースのU15とかU18の選手たちを派遣して、そのイベントをお手伝いするというのをさせていただいております。そういう、要は支える側として参加することで、そのことに対して知識とか見識を広めていくということをやっているんですけども、その関係をうまく活用して、これから千葉市がパラスポーツにどのような取り組みをしていくのかということをお聞きしながら、一緒にやっていくことでいいものが見つっていけるかなというので。ただ、現状、私たちは今、自分たちで活用できる施設というものがなくて参加させてもらっているという形をとっていますけれども、今度はこれだけのフィールドができるので、そうすると自分たちから考えて企画していけることができるんじゃないかなというふうに考えております。

○部会長 はい、どうぞ。

○委員 提案書の54ページあたりに書かれているのですが、災害時対応として、地震と津波のことについては結構書かれているのですが、最近ですとやはり台風による被害がものすごく起きています。あらかじめ予期されるだろう災害に対してはどのような対応を行うのでしょうか。

○SSP UNITED（佐川） 基本的に、その蘇我のフクダ電子アリーナというのは、ここに書いてあるとおり、実際今回は台風だとか、そういったところの受け入れの、避難、難民とかの受け入れ施設にはなっていないんですね。ただ、今般非常に時季外れの台風が来たりだとか、そういった災害、特に今回千葉県で非常に大きなダメージを受けたというところがありますので、そういったものが、今後よりそういった災害に対して必要な施設、そういうような形での話が千葉市さんのほうからもそういったことがあった場合には、指定管理者として協議しながら、そういった対応にも努めていかなきゃいけないのかなという考えでおります。

○部会長 提案書の53ページ、今までと違うお話なんですけれども、現在従事している職員が次期も継続雇用ということが書かれています。ただ、構成企業が変わるということで、抜かれる方もいると思うんですけれども、芝の管理とか、そのあたりはどのようになる見込みでしょうか。

○SSP UNITED（佐川） 基本的には、芝管理において特殊な管理をしている企業でありまして、特に今回、管理の企業を変えるというところで、特に今働いている職員の方々が残ってやると、もちろんそういう考え方もあったんですけども、やはりここを特別なノウハウを持った企業がやっているということで、その辺においては、今やっている芝の管理者も別な施設の管理に従事させるということで、全くその辺は、通常ですと運営とかやっている人間が指定管理が変わった場合にそのまま運営に、次の指定管理のところにもそのまま残って従事するというケースはあるんですけども、芝管理については、今回、次の指定管理が変わったところでも今やっている企業の職員が残ってそのまま働くというところはなく、そのまま入れか

えという形をとります。

○部会長 それで、その下に書いてある契約社員、パート社員について、5年間の就業後に無期雇用への意思確認とあります。今回の指定管理の期間で5年になるわけですが、現在やっている方で無期に変わるといような方もこれから出てくるということなんでしょうか。

○SSP UNITED (佐川) はい、既に当社も、代表企業のほうも、5年間を経過する職員に関しては、この辺のアンケート調査をしております、無期雇用への意思確認はもうっております。意思確認については、総務のほうできちんと把握しております、5年経過するわけですから、その辺の職員に対する対応はきちんとしていく方向でございます。

○部会長 63ページ以下、特別提案がございます。この件については、実現の見込みというのは、ほぼ間違いないということよろしいでしょうか。

○SSP UNITED (佐川) 今回、特別提案に掲げさせていただいております内容については、きちんと遂行できる状況のものを書かせていただいております。

○部会長 ちょっと前の話になってしまって恐縮ですが、前回、照明のLED化というのが非常に大きな提案だったかと思うのですが、あれは今回はそういうことはできないでしょうか。

○SSP UNITED (佐川) そうですね、すみません、現指定管理を、このちょうどヒアリングのときに大きな特別提案として競技施設のLED化というところを提案させていただいたところに関しては、指定管理を開始させていただいて1年目にその試算をさせていただいた結果、非常に競技場照明のLED化というものの難しさと、費用のかかる面に関しては無理だと、5年間の指定管理、5年どころじゃないんですけども、この辺に関しては1年目に千葉市さんと協議をさせていただきまして、提案に掲げたLED化というのは試算的にもちょっと難しいです。ただ、難しいんですけども、提案した以上、それにかわるものということで、今継続協議になっていきますけれども、それにかわるものとしてはやらなければいけないと。その提案としてアリーナなり、蘇我の球技場の中の事務所内だったり、電気を多く使う部分のLED化、あとは通路、1階の廊下のLED化、こういうものは基本的に進めさせて、今はもうLEDにかわっております。それと、それにかわるものとして、さまざまな、通常市のほうで修繕をやる100万円以上のものに関しても、LED化にかわるものとして、指定管理のほうで費用を捻出して修繕している部分も何件かあったりと、そういう形で、その協議の中で変わるものとして今やらせていただいております。

ただ、次も指定管理、変わったとしても、我々は同じ提案した企業であるので、もちろん今回のLED化というものは掲げてないんですけども、もちろん難しい話であるのと同時に、ジェフさんも一緒に今度は運営に入るといことですので、他のスタジアムの動向も見ながら、なかなかLED化というのが、ほかのJリーグで使っているホームスタジアムも全てがLED化には今なってないですね。その辺の問題の追求だとか、じゃ、フクダ電子アリーナで競技用照明をLED化する場合にはどうしたらいいか、そういったところも探りながら、もちろん事業体でできるものではないといところにはそういったところは出ていますので、市のほうと協議をして、LED化も近い将来、競技場というものはLED化になっていくと思いますので、そういう進め方でLED化というものは考えていきたいと思っております。

○部会長 あと、念のためなんですけれども、財務状況で問題があるというわけではないのですが、千葉マリンスタージアム社の売上高なんです、平成28年度、29年度、30年度と、だんだん減少している。30年度の売上高が前期に比べて35%減少しているといところがあるのですが、これはどういったことかといのはご説明いただけますでしょうか。

○SSP UNITED (永井) こちらに関しましては、冒頭説明させていただきました京

葉銀行プラザという施設を管理しております、それが29年度まででございました。その部分が、京葉銀行プラザ自体が廃止になっておりますので、その部分での売り上げは減少しているところでございます。ただ、利益に関しましてはある程度前年、若干ずつ下がっておりますけれども利益は確保しながら、会社としては経営をさせていただいております。

○部会長 ありがとうございます。

はい、どうぞ。

○委員 64ページの特別提案のところ、ドローンの活用というのがありますが、既に実施されているのでしょうか。

○SSP UNITED (若杉) いや、今後これを使って、例えば通常では見えないところとか、あと、ここにも書いてあります災害時の早期チェックだとか、そういう形で進めていくということで、来年度は単純に頼む、お願いしてやってもらうというわけではなくて、我々がパイロットを育てて、ドローンはパイロットというんですけれども、育てて、うちでドローンを少し購入して、いつでも飛ばせるような体制に今後していきたいということで書いてあります。

○委員 どのぐらいのスパンでそれを実現しようとお考えになっているか教えてください。

○SSP UNITED (若杉) 一応、ご指名いただいたらすぐ準備に入って、早い段階からスタートする。これだけ災害があるので、ちょっとやっていきたいと。そんなにすばらしい、物すごいとかというわけじゃないですけれども、通常のカメラで撮影ができるようなドローンであれば十分できますので。

○委員 技術的には見通しが立っているということですね？

○SSP UNITED (若杉) はい。実際、我々の協力会社がそれを使っているところがあるので、そこと相談しながら、もう実際現調もしました。

○委員 はい、わかりました。

○部会長 ほかに委員の皆さんご質問はよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○部会長 それでは、以上で終了となります。

SSP UNITEDさん、どうもありがとうございました。

(SSP UNITED 退室)

○部会長 それでは、ただいまのプレゼンテーション、質疑応答等を踏まえ、委員の皆様から事務局に対する確認事項、質問などございますでしょうか。

(「特になし」の声あり)

○部会長 では、特にないようであれば、応募者の採点をお願いいたします。

(採点)

○部会長 皆様、採点のほうは終わりましたでしょうか。

(「はい」の声あり)

○部会長 それでは、意見交換を行いたいと思いますが、何か意見ございますでしょうか。

○委員 意見ということではないのですが、引き続き代表企業は千葉マリンスタジアムさんで、ジェフさんが入ったことのプラスアルファのお話が非常に目立ったなということです。私として、モニタリングの話とか、実施事業の話とか、平日の稼働率を上げる話等々についてよりよくなるのかなという感覚を持ちましたので、現状の実績も踏まえ最善な形なのかなと感じました。

○部会長 ありがとうございます。



特に、今この段階でつけ加えなければいけないこととかないですか。  
では、一旦、意見交換は終わって、以上で終了いたします。  
では、採点表を確定しますので、採点表のご確認を念のためお願いいたします。  
よろしいですかね。  
では、事務局のほうで採点表の回収と集計をお願いいたします。  
では、事務局で集計を終えるまで、しばらく休憩といたします。

午前10時55分 休憩

午前11時18分 再開

- 部会長 それでは、事務局での集計が終わりましたので、部会を再開いたします。  
集計結果を事務局からご報告、お願いいたします。
- 三田都市総務課長補佐 それでは、お手元に集計結果をお配りさせていただきました。  
結果をご報告いたしますと、各委員の採点はお手元の採点表集計結果に記載のとおりでございまして、DまたはEの評価をいただいた項目はございません。  
以上でございます。
- 部会長 ありがとうございます。  
ただいま事務局から集計結果をご報告いただきましたが、当部会としてSSP UNITEDを指定管理予定候補者に選定することについて、委員の皆様、ご異議などございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

- 部会長 異議はないようですので、千葉市蘇我スポーツ公園に係る指定管理予定候補者は、SSP UNITEDとして市長に報告いたします。  
なお、選定理由及び意見等についても報告することとなっております。意見等ございますでしょうか。  
先ほど、観音寺委員からもご意見ありましたが、現在も指定管理をしている2者が構成体に加わっていて、そこにさらに今まで利用者の立場だったジェフが加わるということで、これまでのものを継続した上で、さらによりよいもの、足りなかったものを補ってよりよい指定管理をしていただくということによりよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

- 部会長 最後につけ加えることがあればお願いしたいと思いますが。  
あと、きょうのプレゼンで、それから質疑応答でやります、やりたいですと言ったことをきちんと実行していただくということをお願いしたいと思います。  
それでは、今の私の意見、それからきょうこの質疑応答等の中で皆様から出た意見も踏まえて、それらを部会の意見といたします。  
本日の議事はこれで全て終了いたしました。  
以上をもちまして、令和元年度第4回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。  
それでは、事務局にお返しいたします。
- 木津公園管理課長 長時間にわたるご審議ありがとうございました。  
今後は、委員の皆様にご選定いただきました指定管理予定候補者と協議を進めてまいりたいと思います。その後、11月28日から開催予定の令和元年第4回定例会におきまして、指定管理の指定議案として提出したいと思っております。
- 三田都市総務課長補佐 それでは、本日の会議はこれで終了させていただきます。

委員の皆様、本日はありがとうございました。